

# 津波の心得 9カ条

## 1 小さな揺れでも油断禁物

小さな揺れでも大きな津波がやってくる場合もあります。



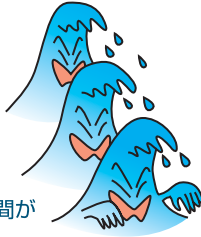
## 2 高い場所へ避難する

港近くの集落では、ご近所の屋上のある頑丈な建物や近くの高台への逃げ道の確認をおきましょう。



## 3 津波のスピードは速い

沖ではジェット機のような速さ、陸地近くでは遅くなりますが人間が走っても追いつかれます。



## 4 津波はくり返し来る

東南海・南海地震の場合、津波到着まで約50分の時間があります。冷静に速やかに避難行動に移りましょう。

## 5 正しい情報を聞く

テレビ・ラジオの情報はもとより、マップには防災行政無線の位置を示しています。スピーカーからの情報にも耳を傾けてください。



## 6 引き潮がなくても注意

一般には潮が引いた後に津波がやってくると言われていますが、そうとは限りません。

## 7 満潮の時は要注意

津波は潮位の上に乗るようにやってきます。低い津波でも多くのエネルギーを持っているのです。



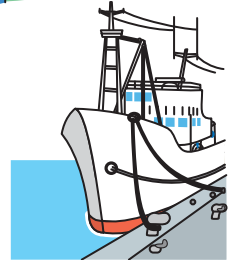
## 8 海岸や河川に近づかない

津波は川を遡上することがあります。避難の時も川の側の道は避けましょう。



## 9 海上では

小型船舶で海岸近くにいる場合は、沖出しすることが賢明です。陸地近くより、水深が深く、広い海域が安全です。



## 大阪管区気象台が発表する大雨に関する予報と発表基準

気象庁が発表する用語について、その基準と皆さんが感じるようすや、一般的災害状況をまとめたものです。長い時間降り続いた場合には、わずかな雨でも土砂災害は発生します。また、山間部では局所的な大雨による被害が発生することもあります。



### 大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合で、具体的には次のいずれかの条件に該当する場合である。

- ① 1時間雨量が20mm以上になると予想される場合、ただし、総雨量が50mm以上になると予想される場合
- ② 3時間雨量が40mm以上になると予想される場合
- ③ 24時間雨量が70mm以上になると予想される場合

### 大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合で、具体的には次のいずれかの条件に該当する場合である。

- ① 1時間雨量が40mm以上になると予想される場合、ただし、総雨量が100mm以上になると予想される場合
- ② 3時間雨量が70mm以上になると予想される場合
- ③ 24時間雨量が130mm以上になると予想される場合

### 雨の強さと降り方

予報用語	1時間雨量	人の受けるイメージ	屋外の様子	災害発生状況
猛烈な雨	80 mm 以上	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、 厳重な警戒が必要
非常に激しい雨	50 mm 以上 80 mm 未満	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)		都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある マンホールから水が噴出する 土石流が起こりやすい 多くの災害が発生する
激しい雨	30 mm 以上 50 mm 未満	バケツをひっくり返したように降る	道路が川のようなになる	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり 危険地帯では避難の準備が必要 都市では下水管から雨水があふれる
強い雨	20 mm 以上 30 mm 未満	どしゃ降り		側溝や下水、小さな川があふれ 小規模の崖崩れが始まる
やや強い雨	10 mm 以上 20 mm 未満	ザーザーと降る	地面一面に水たまりができる	この程度の雨でも 長く続く時は注意が必要